

PAT-NO: JP02003079507A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003079507 A

TITLE: BUDDHIST ALTAR

PUBN-DATE: March 18, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAWAMOTO, KIYOSHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAWAMOTO BUTSUDANTEN:KK	N/A

APPL-NO: JP2001276383

APPL-DATE: September 12, 2001

INT-CL (IPC): A47G033/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a Buddhist altar with an improved appearance providing an impression of a wide and deluxe interior over a long time.

SOLUTION: Thin stainless steel plates with mirror finished surfaces are attached with an adhesive to the whole inner side faces of a back face, right and left side faces, a ceiling, doors 2 and sashes 3 of a Buddhist altar body 1.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

4311289

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-79507

(P2003-79507A)

(43)公開日 平成15年3月18日 (2003.3.18)

(51)Int.Cl.⁷

A 47 G 33/02

識別記号

F I

テ-マコ-ド(参考)

A 47 G 33/02

D

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号

特願2001-276383(P2001-276383)

(22)出願日

平成13年9月12日 (2001.9.12)

(71)出願人 501359836

有限会社川本仏壇店

広島県吳市阿賀南1丁目1-29

(72)発明者 川本 喜代史

広島県吳市阿賀南1丁目1-29

(74)代理人 100079636

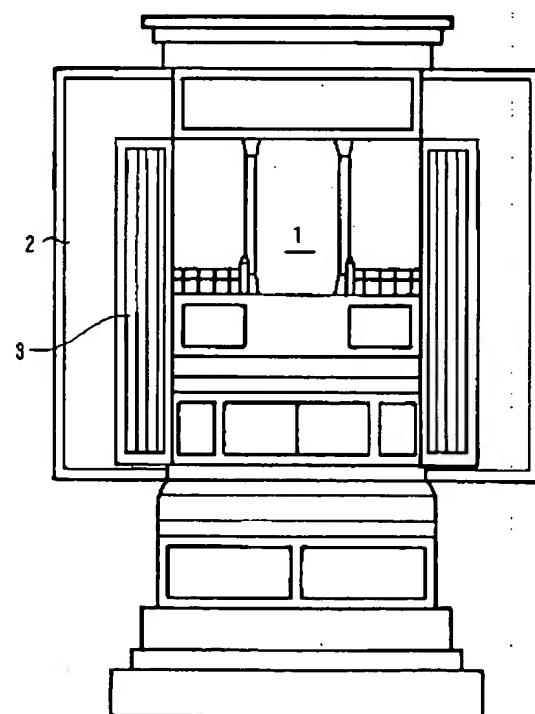
弁理士 佐藤 晃一

(54)【発明の名称】 仏壇

(57)【要約】

【課題】長期間にわたって仏壇内部を広く、かつ豪華に見せ、見映えをよくした仏壇を提供する。

【解決手段】仏壇本体1の背面、左右の側面、天井、大戸2及び障子3の内側全面に表面を鏡面仕上げしたステンレス薄板を接着剤にて取付ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】仏壇本体の内部に仏具、位牌、祭りもの等が置かれ、前面に大戸が、内側に障子が左右に開くように設けられる仏壇において、仏壇本体の背面、左右の側面、天井、大戸、障子のうち、少なくとも一つに、ステンレス、アルミニウム或いはチタン等よりなり、表面を鏡面仕上げした金属板ないし金属シートを取着したことの特徴とする仏壇。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、見映えをよくした仏壇に関する。

【0002】

【従来技術】図1は、仏壇の一例を示すもので、仏壇本体1の内部には仏具、位牌、祭りもの等が置かれ、前面の両側に大戸2が、その内側に障子3がそれぞれ左右に開くように設けられている。こうした仏壇には、仏壇本体1を黒檀や紫檀等の唐木で製作し、或いは木製下地の表面に唐木の薄板を接着したり、唐木の模様に塗装した唐木仏壇と、木製下地の表面に金箔を接着した金仏壇とがあるが、いずれの仏壇も概して内部が薄暗い。

【0003】実用新案登録第3060327号には、仏壇本体内壁に鏡を取付けて光の反射作用により仏壇内部を広く、かつ明るく見せることができるようにした仏壇が提案されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】仏壇は、運搬時には一般に、仏具、位牌、祭りもの等を取り外して運ばれるが、それでも引出しが飛び出して鏡を破損するおそれがある。また地震等により内部に安置した仏具、位牌、祭りもの等が倒れ、鏡を破損することが予想される。

【0005】本発明は、こうした問題を生ずることのない、見映えのよい仏壇を提供することを目的とする。

【0006】

【課題の解決手段】本発明は、仏壇本体の内部に仏具、位牌、祭りもの等が置かれ、前面に大戸が、内側に障子が左右に開くように設けられる仏壇において、仏壇本体の背面、左右の側面、天井、大戸、障子のうち、少なくとも一つ、好ましくは大部分又は全部に、ステンレス、アルミニウム或いはチタン等よりなり、表面を鏡面仕上げした金属板ないし金属シートを取着したことを特徴とする。

【0007】本発明における金属板ないし金属シートの取着は、通常は接着材等を用いて接着されるが、嵌め込みによって取着することもできるし、金属板や金属シートに孔をあけ、針やネジにより止着することもできる。これらの中では、取付手段が外観から見えなくて、見映えがよく、取付けも容易な接着剤等による接着が望ましい。

【0008】

【発明の実施の形態】本実施形態の仏壇は、図1に示す仏壇本体1において、背面と左右の側面、天井、大戸及び障子の内側の全面に表面を鏡面仕上げしたステンレス薄板を接着剤にて接着し、取付けたものである。

【0009】本実施形態の仏壇によると、本体内部に置いた仏具、位牌、祭りもの等が鏡面に反射して対向する鏡面に際限なく写し出され、仏壇内部を広く、かつ豪華に見せることができる。

【0010】本実施形態の仏壇は、鏡面仕上げした金属薄板をステンレス薄板とし、それを仏壇本体の背面、側面、天井、大戸及び障子の内側の全面に取付けているが、金属薄板をアルミニウムやチタン製としてもよいし、仏壇本体の背面、側面及び天井の一部に取付けてもよい。唐木や金が鏡面に反射して、より莊厳ないし豪華な感じを与えることができるようになる。なお、上述の金属薄板は、顧客の要望によって、大戸や障子の外側に取付けてもよい。

【0011】

【発明の効果】本発明によると、仏壇内部の仏具、位牌、祭りもの等が鏡面に反射して際限なく写し出されることにより、仏壇内部を広く、豪華に見せ、見映えをよくすることができること、鏡面仕上げした金属板ないし金属シートは、取り付けたままで出荷しても、運搬中、破損するおそれがなく、また地震等で仏具、位牌、祭りもの等が当たっても破損するこがないうえ、その素材がステンレス、アルミニウム或いはチタン等よりなり、錆び付かないため、長期間にわたって上記見映えを維持することができること等の効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】大戸や障子を開いた仏壇の正面図。

【符号の説明】

- 1・・仏壇本体
- 2・・大戸
- 3・・障子

[図1]

